



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5992 URL <https://www.chk.ko.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小出 健太
問合せ先責任者（役職名） 総合企画部長（氏名） 藤田 誠一 (TEL) 052-624-8539
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年11月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	53,256	5.8	1,760	158.4	1,787	△20.8	1,248	△11.7
2024年3月期中間期	50,344	16.0	681	99.8	2,256	10.4	1,414	28.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △7,909百万円(-%) 2024年3月期中間期 8,621百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	49.45	—
2024年3月期中間期	56.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	141,439	84,064	56.4
2024年3月期	153,572	92,395	57.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 79,704百万円 2024年3月期 87,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2025年3月期	—	14.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	5.0	2,700	151.5	3,000	△3.0	1,700	△14.6	67.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	25,542,396株	2024年3月期	25,542,396株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	303,124株	2024年3月期	298,448株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	25,240,705株	2024年3月期中間期	25,253,117株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(中間連結貸借対照表関係)	10
(セグメント情報等)	11
参考資料	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における主要取引先の売上高は前年同期に比べ、国内は新製品スタビライザの量産開始による新たな取引拡大と労務費及び鋼材、資材などのインフレ影響に対するお客様売価反映の営業努力が、台風影響などに伴う取引先における生産停止の影響を上回り増加し、一方海外は中国をはじめとして北米、アジアを含む全域で減少となりましたが、グローバル全体では増加いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高が前年同期に比べ29億1千1百万円増収(前年同期比5.8%増)の532億5千6百万円となり、売上高は同期間において過去最高となりました。この売上高は労務費上昇、鋼材インフレ等に対する売価反映と為替変動の影響を含み、実質的な売上高の増収は約12億円となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が前年同期に比べ10億7千9百万円増益の17億6千万円(前年同期比158.4%増)となりました。営業利益は同期間において過去最高となりました。製品としては新技術を搭載した新製品スタビライザの売上高増に伴う収益構成の改善、直材費低減としてのグローバル調達ソーシングの改善や仕入先様と一体となり改善を行うエンジニアリング調達の推進、生産技術面からはSDGsカーボンニュートラル対応として、より低温・コンパクトな設備にてばね製品を加工・製造できる冷間工法技術を採用した設備投資の拡大、加えて働き方改革の一環として間接部門人員の工数管理・分析システム導入による生産性向上など、従来レベルの改善領域を更に上回る原価低減施策を実施した結果があらわれてきております。併せて労務費及び鋼材、資材などのインフレ影響に対するお客様売価反映は同期間内における期ずれのない対応がほぼ実施できております。地域別では、国内収益改善がグローバル全体を牽引しておりますが、中国・北米・アジアの減益幅も売上高減の影響に比し上記活動が奏功し抑えられた結果となり全地域黒字化を達成しております。経常利益は前年同期に比べ4億6千8百万円減益の17億8千7百万円(前年同期比20.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ1億6千6百万円減益の12億4千8百万円(前年同期比11.7%減)となりました。経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が減益となっているのは為替が円高方向に振れたことにより当社保有の外貨建て資産に対する為替評価損の営業外損失が発生したためです。

当初公表年間計画の各利益指標が半期において高い進捗率となっていますのは、売上高増に加え上記活動が予想を超えて進捗しているためです。従いまして、当中間期の結果を踏まえ、本日公表計画を別記載のとおり修正いたします。今後、国内生産台数は増加と予測しますが、海外生産台数の減少は今後も継続し予断を許さない状況にあること、またインド進出など将来の事業基盤強化のための「意志ある固定費」の更なる投入を考慮し、本数値としております。

本年は、昨年策定し本年5月にアップデートした『中長期経営計画2027』の2年目にあたり、その先行投資期間と位置付けておりますが、更なる成長投資を行うとともに、高付加価値製品の開発やEV化対応を軸とした「商品力強化」、インド合弁事業を始めとするグローバル事業展開の更なる活動強化、非自動車分野の拡充を軸とした「新規分野進出」、加工技術内製化やグローバル調達改善、生産性改善を軸とした「画期的な原価低減」の3つの戦略を着実に進展させることで、収益力のさらなる向上に取り組み、2027年度目標である売上高1,100億円、営業利益55億円、営業利益率5%、ROE5%以上の達成に努めてまいります。また、そのプロセスとして、収益力の向上に加え、BSバランス全体を俯瞰した資産の活用効率向上、適切な資本施策の推進を行い、中長期持続的に企業価値を拡大させステークホルダーの皆様への還元面積総和を最大化する取組みを確実に実施してまいります。

今後も、クリエイティブ・カンパニーとして信頼され続ける『100年企業』を目指し、『社会』と『人』に優しく持続的に企業価値を高め続けられる会社づくりに邁進いたします。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

[日本]

売上高399億3千9百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益22億3千1百万円(同252.9%増)となりました。

[北米]

売上高43億4千3百万円(前年同期比13.3%減)、営業利益6千9百万円(同20.8%減)となりました。

[中国]

売上高51億4百万円(前年同期比17.9%減)、営業利益2千6百万円(同94.4%減)となりました。

[アジア]

売上高82億9千3百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益4億2千6百万円(同15.5%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は547億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億6千1百万円減少(2.4%減)いたしました。これは主に商品及び製品の減少(5億3千7百万円)及び原材料及び貯蔵品の減少(3億8千7百万円)によるものであります。

固定資産は866億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億7千2百万円減少(11.1%減)いたしました。これは主に投資有価証券の減少(121億7百万円)によるものであります。

この結果、総資産は1,414億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ121億3千3百万円減少(7.9%減)いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は201億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千6百万円増加(0.1%増)いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(10億7千2百万円)及び未払金の減少(6億8千1百万円)によるものであります。

固定負債は372億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億1千8百万円減少(9.3%減)いたしました。これは主に繰延税金負債の減少(38億7千3百万円)によるものであります。

この結果、負債合計は、573億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億2百万円減少(6.2%減)いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は840億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億3千1百万円減少(9.0%減)いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少(84億9千2百万円)によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.4%(前連結会計年度末は57.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年4月25日に公表いたしました内容を変更しておりません。詳細につきましては、本日(2024年10月30日)公表いたしました「2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,123,118	20,928,351
受取手形及び売掛金	15,345,922	15,305,737
電子記録債権	2,420,593	2,930,714
商品及び製品	3,871,745	3,334,114
仕掛品	1,878,883	1,776,167
原材料及び貯蔵品	9,254,712	8,867,637
未収入金	555,340	470,403
その他	1,700,483	1,167,281
貸倒引当金	△27,670	△18,987
流動資産合計	56,123,131	54,761,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,956,756	32,397,166
減価償却累計額	△25,979,590	△25,970,731
建物及び構築物(純額)	5,977,165	6,426,434
機械装置及び運搬具	69,784,722	71,665,538
減価償却累計額	△56,462,842	△56,516,735
機械装置及び運搬具(純額)	13,321,879	15,148,802
土地	9,725,718	9,625,806
建設仮勘定	5,346,396	4,215,988
その他	12,048,850	11,897,693
減価償却累計額	△11,069,933	△10,907,364
その他(純額)	978,917	990,329
有形固定資産合計	35,350,077	36,407,361
無形固定資産		
ソフトウェア	171,538	168,754
その他	32,597	14,311
無形固定資産合計	204,136	183,066
投資その他の資産		
投資有価証券	41,827,887	29,719,969
長期前払費用	597,348	467,005
繰延税金資産	217,777	255,896
退職給付に係る資産	19,018,464	19,411,490
その他	244,498	243,281
貸倒引当金	△10,426	△10,426
投資その他の資産合計	61,895,549	50,087,217
固定資産合計	97,449,763	86,677,644
資産合計	153,572,894	141,439,064

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,124,427	12,196,798
電子記録債務	1,629,067	1,369,953
短期借入金	686,000	682,500
リース債務	124,495	118,690
未払金	1,933,551	1,251,953
未払費用	1,947,471	1,865,586
未払法人税等	391,585	418,759
賞与引当金	1,465,004	1,500,696
役員賞与引当金	58,394	25,881
製品保証引当金	19,160	21,247
その他	720,548	664,062
流動負債合計	20,099,707	20,116,130
固定負債		
長期借入金	23,000,000	23,000,000
リース債務	246,426	245,078
繰延税金負債	16,437,938	12,564,737
役員退職慰労引当金	68,672	32,430
退職給付に係る負債	1,085,350	1,192,953
資産除去債務	136,633	125,079
その他	102,414	98,318
固定負債合計	41,077,435	37,258,597
負債合計	61,177,142	57,374,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,074,224	11,074,224
利益剰余金	28,770,197	29,715,450
自己株式	△308,631	△309,310
株主資本合計	50,372,999	51,317,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,012,568	18,519,605
為替換算調整勘定	1,875,903	1,739,276
退職給付に係る調整累計額	8,650,948	8,127,978
その他の包括利益累計額合計	37,539,420	28,386,860
非支配株主持分	4,483,332	4,359,903
純資産合計	92,395,752	84,064,336
負債純資産合計	153,572,894	141,439,064

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	50,344,684	53,256,421
売上原価	45,156,390	46,818,873
売上総利益	5,188,293	6,437,548
販売費及び一般管理費	4,506,805	4,676,550
営業利益	681,488	1,760,997
営業外収益		
受取利息	14,966	60,093
受取配当金	436,911	564,861
為替差益	1,195,801	-
その他	63,036	98,615
営業外収益合計	1,710,715	723,570
営業外費用		
支払利息	30,112	62,378
固定資産除売却損	35,932	63,146
品質保証費用	41,206	-
為替差損	-	544,006
その他	28,860	27,361
営業外費用合計	136,111	696,892
経常利益	2,256,092	1,787,675
特別利益		
関係会社清算益	-	44,896
特別利益合計	-	44,896
税金等調整前中間純利益	2,256,092	1,832,572
法人税等	745,617	525,325
中間純利益	1,510,474	1,307,246
非支配株主に帰属する中間純利益	96,259	59,066
親会社株主に帰属する中間純利益	1,414,215	1,248,179

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,510,474	1,307,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,250,305	△8,482,866
為替換算調整勘定	874,714	△210,490
退職給付に係る調整額	△13,691	△523,255
その他の包括利益合計	7,111,328	△9,216,613
中間包括利益	8,621,803	△7,909,366
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,364,199	△7,904,380
非支配株主に係る中間包括利益	257,604	△4,986

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,256,092	1,832,572
減価償却費	1,828,091	2,080,105
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△394,541	△1,097,973
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,590	66,740
受取利息及び受取配当金	△451,877	△624,954
支払利息	30,112	62,378
為替差損益(△は益)	△850,809	297,320
売上債権の増減額(△は増加)	157,778	△537,950
棚卸資産の増減額(△は増加)	325,667	898,837
仕入債務の増減額(△は減少)	539,207	884,199
未払金の増減額(△は減少)	△163,440	△208,805
未払費用の増減額(△は減少)	89,252	△51,586
未払消費税等の増減額(△は減少)	△71,870	295,635
その他の流動資産の増減額(△は増加)	689,935	529,108
その他	551,645	△5,172
小計	4,517,652	4,420,455
利息及び配当金の受取額	448,351	621,191
利息の支払額	△30,047	△62,729
助成金の受取額	9,055	8,074
法人税等の支払額	△683,164	△515,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,261,847	4,471,449
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△106,850
定期預金の払戻による収入	10,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△3,100,899	△4,203,276
有形固定資産の売却による収入	5,068	111,704
無形固定資産の取得による支出	△21,750	△11,495
投資有価証券の取得による支出	-	△19,100
貸付けによる支出	△12,570	△10,200
貸付金の回収による収入	7,471	8,606
その他	△2,152	106,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,124,832	△4,104,288

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	8,000,000	-
長期借入金の返済による支出	△4,623,463	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△59,175	△67,823
自己株式の取得による支出	△183	△678
配当金の支払額	△51,430	△302,203
非支配株主への配当金の支払額	△119,995	△118,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,145,752	△489,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	274,206	△154,681
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,556,973	△276,667
現金及び現金同等物の期首残高	9,986,593	21,103,118
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,543,566	20,826,451

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(中間連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社が過去に製造した自動車用フロントスタビライザに関連し、得意先において当該部品を組み込んだ自動車について2024年5月23日に市場回収処置(リコール)の届出が行われました。これにより補修費用の負担が発生する可能性があります。影響額を現時点で合理的に見積ることが困難であるため、中間連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	33,645,618	4,919,871	4,489,072	7,290,122	50,344,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,847,265	90,054	1,725,725	1,407,269	5,070,314
計	35,492,883	5,009,926	6,214,797	8,697,391	55,414,999
セグメント利益	632,322	88,226	472,224	368,908	1,561,680

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,561,680
未実現利益の消去等	2,296
全社費用(注)	△882,489
中間連結損益計算書の営業利益	681,488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	38,270,185	4,332,406	3,592,707	7,061,122	53,256,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,669,334	11,022	1,512,195	1,232,542	4,425,095
計	39,939,520	4,343,428	5,104,902	8,293,664	57,681,516
セグメント利益	2,231,494	69,875	26,378	426,100	2,753,849

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,753,849
未実現利益の消去等	25,799
全社費用(注)	△1,018,651
中間連結損益計算書の営業利益	1,760,997

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

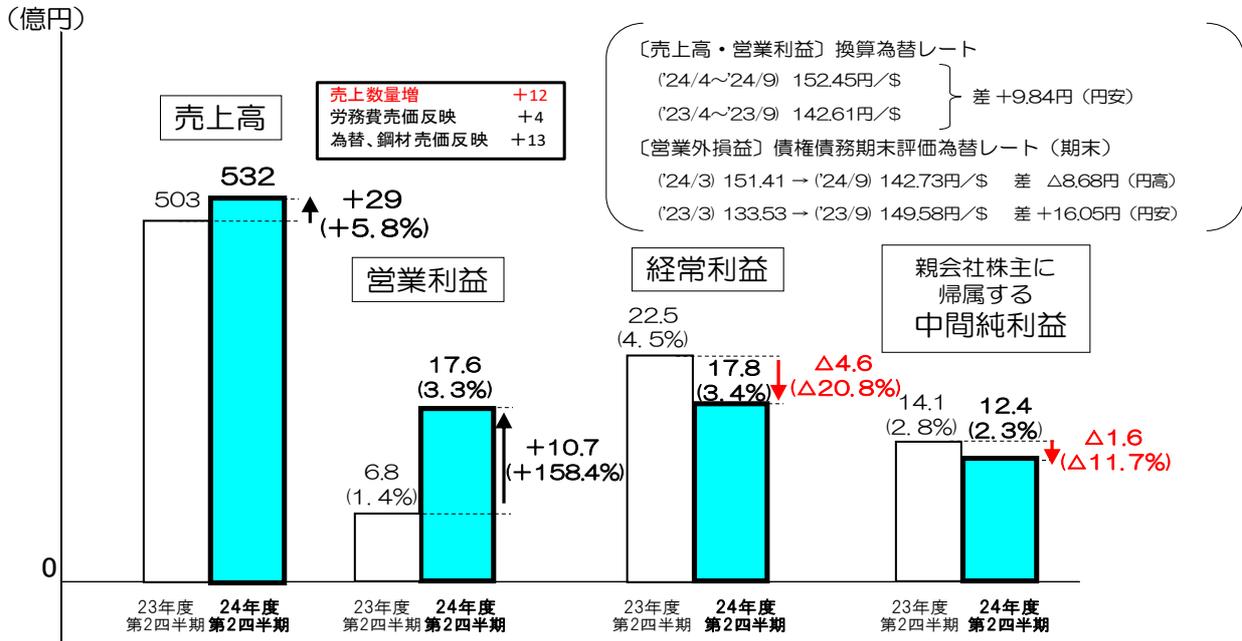
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

1. 売上高 …国内における一部取引先での生産停止影響や、海外における中国をはじめとした北米・アジアでの生産量減少がありながらも、新製品の量産開始に伴う取引拡大、インフレ売価反映が寄与し、増収。過去最高。
2. 営業利益 …高付加価値製品の量産開始と合理化改善による収益貢献が、設備投資・研究開発費・人的投資などの「意志ある固定費」を上回り、またインフレ売価反映により、増益。過去最高。
3. 経常利益 …営業利益の増益効果を、為替が円高に推移したことによる外貨建保有資産の為替差損が上回り、減益。

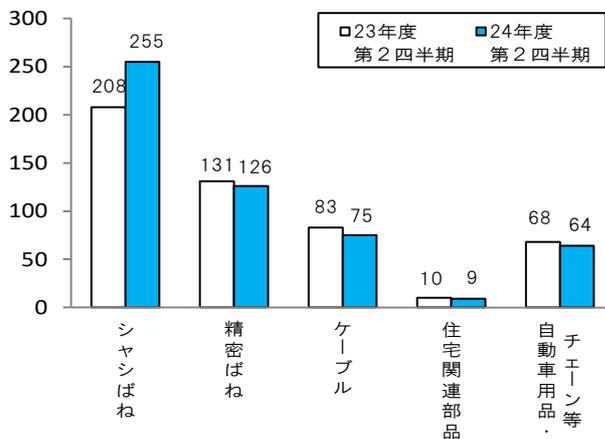
1. 連結決算の状況

（金額単位：億円）



2. 製品別売上高明細

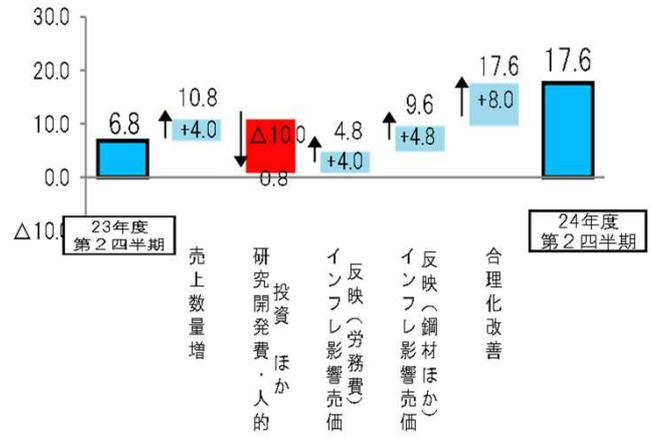
（単位：億円）



3. 利益の増減要因（対前年同期比）

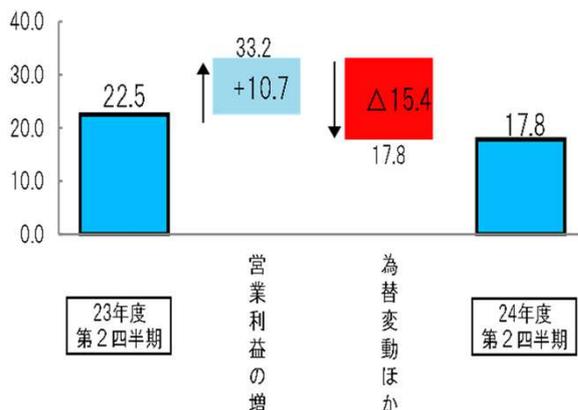
(1) 営業利益

（単位：億円）



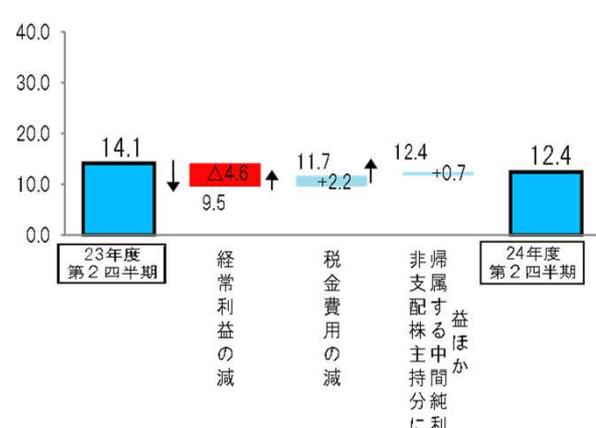
(2) 経常利益

（単位：億円）



(3) 親会社株主に帰属する中間純利益

（単位：億円）



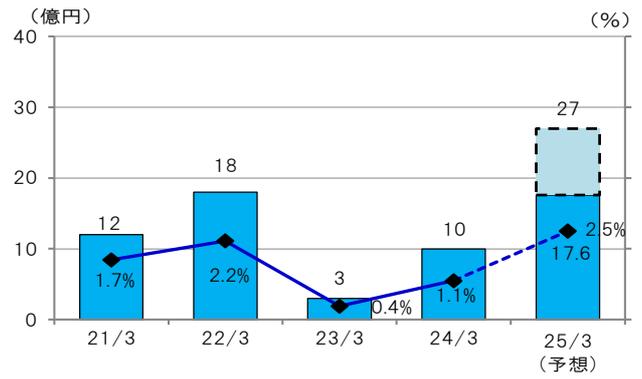
(金額単位：億円)

4. 業績推移

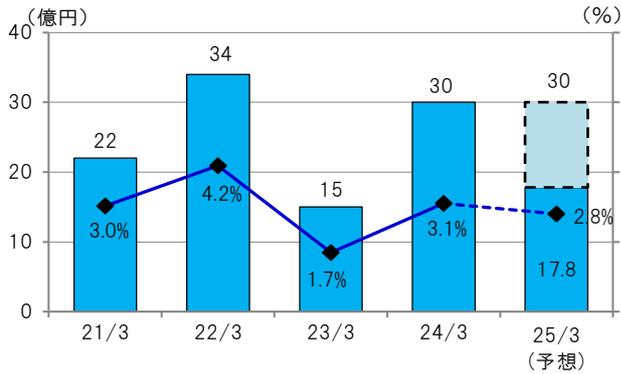
(1) 売上高



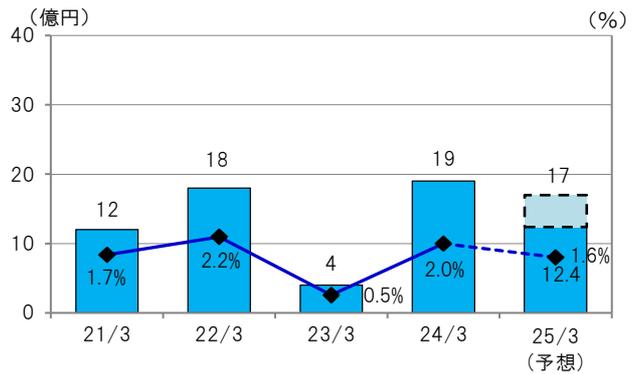
(2) 営業利益



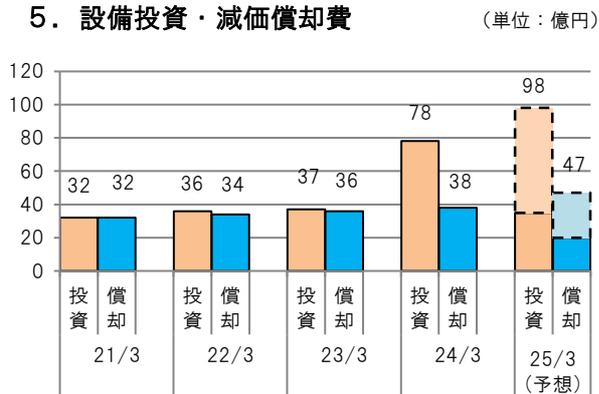
(3) 経常利益



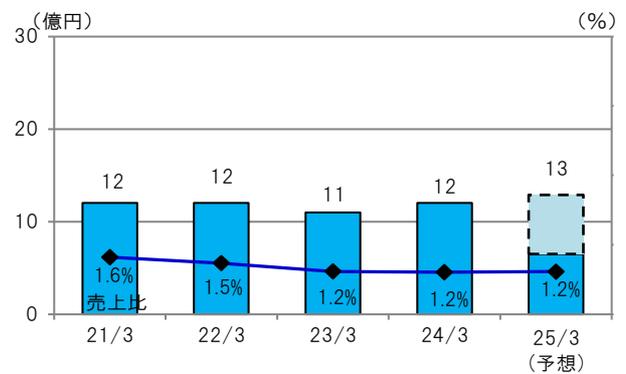
(4) 親会社株主に帰属する当期純利益



5. 設備投資・減価償却費

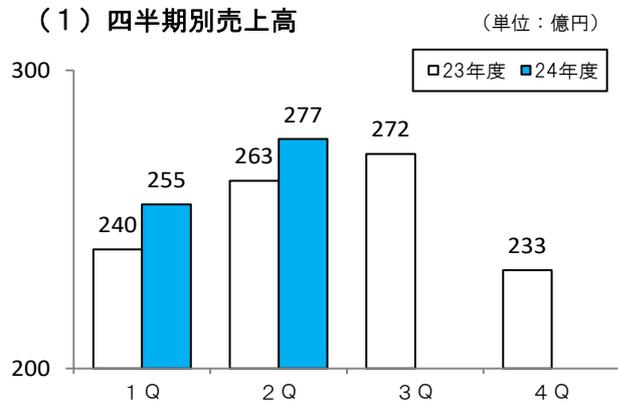


6. 研究開発費

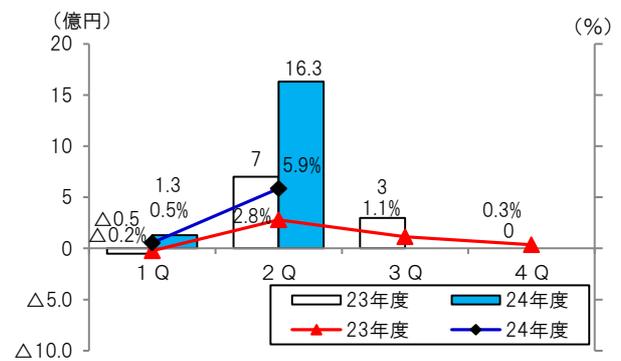


7. 四半期別業績比較

(1) 四半期別売上高



(2) 四半期別営業利益又は営業損失 (△)



(金額単位：億円)

8. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
通期	1,060	5.0	27	151.5	30	△3.0	17	△14.6	67.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

9. 貸借対照表

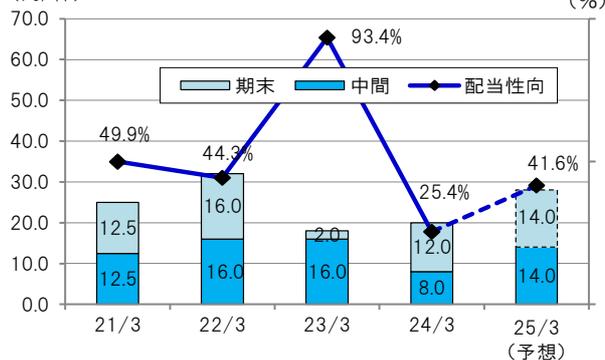
(単位：億円)

科目	資産の部			負債・純資産の部			
	24/03	24/09	増減	科目	24/03	24/09	増減
流動資産	561	547	△13	流動負債	200	201	+0
現金及び預金	211	209	△1	買入債務	127	135	+8
売上債権	177	182	+4	借入金	6	6	+0
たな卸資産	150	139	△10	その他	66	58	△7
その他	22	16	△6	固定負債	410	372	△38
				借入金	230	230	-
固定資産	974	866	△107	その他	180	142	△38
有形固定資産	353	364	+10	(負債計)	611	573	△38
無形固定資産	2	1	△0	株主資本	503	513	+9
投資その他資産	618	500	△118	その他包括利益累計額	375	283	△91
				非支配株主持分	44	43	△1
				(純資産計)	923	840	△83
計	1,535	1,414	△121	計	1,535	1,414	△121

10. 配当金・配当性向

(円/株)

(%)

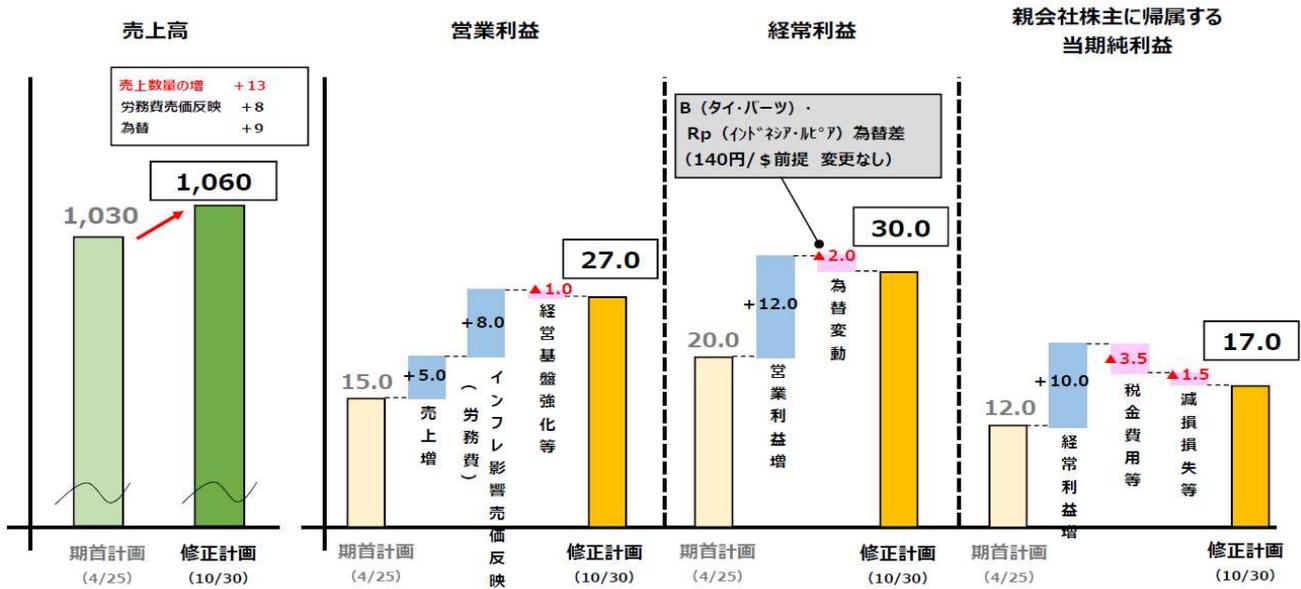


(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

11. 2025年3月期 24/10/30公表 修正計画 vs 24/4/25公表 期首計画

■2025年3月期 修正ポイント

- 1. 売上高・・・当第2四半期結果及び当期後半期における国内を中心とした売上高の増加により、増収予想。
- 2. 営業利益・・・売上高増加に加え、インフレ影響に対する売価反映の進捗を考慮し、増益予想。
- 3. 経常利益・・・営業利益の増加に伴い、増益予想。



<参考>2025年3月期 24/4/25公表 期首計画 vs 2024年3月期 実績

